

伊丹ルーテル教会 復活節第六主日礼拝

2021年5月9日

前奏：

聖名による挨拶

牧師：父と御子と聖霊の御名によって。アーメン。

会衆：アーメン。

牧師：主よ、わたしのくちびるを開いて下さい。

会衆：そうすれば、私の口はあなたのほまれを告げるでしょう。

一同：父と御子と聖霊の神に、栄光が、初めにそうであったように、
今も、そしてとこしえまでもありますように。アーメン。

招きのことば：詩編 98:1-6 より

新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。

右の御手、聖なる御腕によって 主は救いの御業を果たされた。

主は救いを示し 恵みの御業を諸国の民の目に現し

イスラエルの家に対する 慈しみとまことを御心に留められた。

地の果てまですべての人は わたしたちの神の救いの御業を見た。

全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。歓声をあげ、喜び歌い、ほめ歌え。

琴に合わせてほめ歌え 琴に合わせ、楽の音に合わせて。

ラッパを吹き、角笛を響かせて 王なる主の御前に喜びの叫びをあげよ。

罪の悔い改めと赦しのことば

会衆：私たちは生まれつき 自分中心 わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。

思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に
罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。

私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストに
よって、どうかあわれんでください。アーメン。 (短い黙祷を持ちましょう)

牧師：何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子 イエス・
キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。

ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言
します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して
行きなさい。アーメン。

使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、
陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天にのぼり、
父なる全能の神の右に座したまえり。
生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

我は聖霊を信ず、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。**アーメン。**

祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、
あなたは私たちに赦しと命を与えてくださいます。互いに傷つけ合うことしかできない私たち、神様には怒りや絶望しか感じられないこともある私たちに、あなたは今日もみ言葉をもってとどいてくださいます。イエス様をわたしたちの生活の真ん中にお送りくださり、あなたが私たちを尊重して、大切にしてくれ、心のよろいをぬいでもよい安心を与えて、神様の子どもとしてこの世界をよりよきところにする喜びを与えてくださいます。
あなたの愛と憐みの中で、先週の歩みも守られました。感謝をいたします。イエス様が私たちとしっかりつながっていてくださって、私たちに今日も赦しといのちを与えてくださいます。新型コロナウイルスの感染拡大によって今多くの方々が苦しみの中におられます。私たちも毎日こわくなります。緊張します。どうぞ、助けてください。
病気の人のお世話をしたり、生きていくために必要なものを整えて働いてくださる方々が苦労しています。お支えください。
今週もビデオやプリントによって、私たちは別々のところで同じ礼拝にあずかります。このために力になってくださった方々を祝福してください。
私たちはよみがえられた主イエス様のみ言葉を聴きます。どうぞお語りください。
このお祈りを、イエス様の御名によっておささげいたします。**アーメン。**

使徒書：ヨハネ第一の手紙 5章 1-6節

イエスがメシアであると信じる人は皆、神から生まれた者です。そして、生んでくださった方を愛する人は皆、その方から生まれた者をも愛します。このことから明らかのように、わたしたちが神を愛し、その掟を守るときはいつも、神の子供たちを愛します。神を愛するとは、神の掟を守ることです。神の掟は難しいものではありません。神から生まれた人は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝つ勝利、それはわたしたちの信仰です。だれが世に打ち勝つか。イエスが神の子であると信じる者ではありませんか。この方は、水と血を通して来られた方、イエス・キリストです。水だけではなく、水と血とによって来られたのです。そして、“霊”はこのことを証しする方です。“霊”は真理だからです。

福音書：ヨハネによる福音書 15章 9-17節

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」

説教「あなたがたはわたしの友である」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、み言葉をとりつぎます。

今朝の礼拝は、復活節第六主日の礼拝です。イエス様が十字架にかかって私たちの罪を赦してください、よみがえって私たちに新しいのちをあたえてくださったと私たちは信じています。今朝も復活の主をおぼえるご挨拶をしましょう。

「ハレルヤ、イエス・キリストはよみがえられました」と言いますから、皆さんは「ハレルヤ、イエス・キリストはたしかによみがえられました」とおっしゃってください。

牧師：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

会衆：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

愛には恐れがない。完全な愛は恐れを締め出します。ヨハネ第1の手紙4章18節の言葉です。愛には恐れがない、味わい深いことばですね。わたしはまことのぶどうの木、あなたがたはその枝です、とおっしゃったイエス様のあなたへの愛には偽りはありません。しかし、私たちは騙されないように、はずかしめられないようにいつも警戒しています。それで恐れと疑いで身を固め、うかつに心をゆるすことのないように身構えています。これまでたくさん傷つき、いやな経験を強いられ、がまんしなければならなかったからです。

私たちはみな罪びとです。自分もわがままな罪びとですが、まわりで生きている人も罪びとです。わかっています。彼らから傷つけられないように私たちは自分を守らなければなりません。そのようにして、私たちは互いに警戒しなければ利用され、さげすまれ、捨てられるのではな

いか、と身を守って生きています。それも表面的にはあらわさないで、心には別の思いの流れをもっています。

完全な愛はどんな愛でしょうか。ぶどうの木であるイエス様の、ぶどうの枝であるあなたへの完全な愛はどのような愛でしょうか。

あなたから何も奪うことなく、むしろあなたに犠牲をいとわず与えつくします。完全な愛は、みかえりを求め利用する下心がなく、あなたがうたがっても、あなたを決して裏切らず、見捨てません。そして、完全な愛は、あなたの負担になったり、あなたを縛ることはなく、あなたの喜びとなり、あなたがあなたとしてあなたらしく自分をもって立ち上がることを支えます。あなたを本気で、心底あいする完全な愛は、そのような愛です。

そんな完全な愛に出会うと私たちは自分を守るよろいを脱ぐことができます。愛に恐れがないからです。完全な愛は恐れを締め出すからです。そして人々を尊重し、信頼し、大切にすることがたてられていきます。

私たちは生まれつき人の温かさを恋しく思います。自分をまもって生きてはいますが、心のどこかで愛を人に求めていますね。そんなぬくもりを独占してみたい、と捜しています。心を打ち明けてもさげすまれない人、自分のままで尊重して認めてくれる人、いつでも声を掛け合うことができる人、倒れているときには立ち上がるのを助けてくれる人です。本当の愛など存在しない、と思いつつも、やはり心はそれに近いものをいつも求めているものです。

けれども人に求めると人の負担になることも知っています。私たちの愛は支配欲や独占欲と結びついているからです。ですから、ある面でなんでも受け入れて自分の言いなりになる関係を求めているように見えますが、ほんとうは、できるならちゃんと尊敬できる、自分とは違う感じ方や意見をもっていて、お互いに敵意や侮辱や偽善なく、高め合って話せる人を求めているのではないのでしょうか。

あなたからみると縁もゆかりもないかたなのに、イエス様はあなたを友と呼んで、大切にしてください。イエス様は、わたしたちがイエス様を選んだのではなく、イエス様を選んで私たちのところに来てくださったと言われます。そして、あなたが死ぬほど飢え乾いている本当の愛をもって、あなたを愛してください。あなたが自分で変えることのできない、もって生まれた自己中心とわがままを、イエス様はあなたを責め戒めはずかしめて、あなたが反省して変わっていくことを一切期待しません。イエス様はあなたにかわってご自分が十字架の上でそのとがめを受けて、あなたを縛る罪と世と悪魔のちからからあなたを解放してくださいました。そして、あなたの赦しを完成してよみがえってくださって、今はあなたをあなたとして喜び、パートナーとして、友として尊重し、語り合い、あなたと共に世界をよりよく変えていくことを楽しんでくださいます。

イエス様の愛を受けることによって、私たちは本当の愛を人に求めて得られない苦しみから解放されました。そして進んで人を大切に愛する愛の発信者とされます。わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい、とイエス様は言われました。ここにふたつの意味があります。理由と方法です。イエス様がわたしをあいしてくださったから、互いに愛し合うのです。また、イエス様がわたしをあいしてくださったありさまで、互いに愛し合うのです。

イエス様の愛は完全です。罪びとのわたしをそのまま赦します。わたしから何も求めず、赦しのために必要な償いも犠牲もよい行いもすべてその歩みと十字架の苦しみによってイエス様が私たちのためにしてくださいました。ぶどうの木が枝に必要なものをすべて調達して、喜んで枝に与えてくださるのと同じです。

イエス様の愛は完全です。私たちが自分から自分らしく自分として自己中心を捨てて、人を赦し、人の幸せのために苦勞と喜びを共にする覚悟をする実を結ばせてくださいます。よみがえってくださったイエス様はあなたの友としてあたらしいのちの実りを与えてくださいます。ぶどうの木の喜びはぶどうの枝である私たちが豊かな実を結ぶことなのです。

そして、イエス様の愛は完全です。私たちが友と呼び、私たちがふがいなく情けないからといって、またときどき抑えきれなくて爆発したり反対に自分を責めて落ち込んでしまったりするからと言って、私たちに失望したり、見放したりせず、そんな私たちを受け止めて、必要なことがあれば御子イエス様の名前をつかって父なる神様に求めたら必ず与えられる、と祈りの特権を与えてくださいました。私たちがみじめに拾い上げられるというよりも、みずから威厳をもって立ち上がって神様に感謝できるように、友として尊重して立て上げてくださいます。私と共に、人を愛し、赦し、信頼し、立て上げて、交わりを楽しんでいく、別のことばでいうと互いに愛し合う世界をつくっていくことに喜んで取り組んでくださいます。実を結び、その実が残る人生を歩むように、そして今週がそんな一週間になるようにと任命してくださいました。

私たちは経験上、本当の愛は存在しない、と思っています。本当の愛に近いものを感じても、それは自分の身内だから、とか、自分と同じ価値観だから、とか、自分を満足させてくれるからというように相手に愛される価値があるからです。けれどもイエス様は今日あなたに語ってくださいました。イエス様はわたしはぶどうの木、あなたがたは枝です、と言われました。ぶどうの木と枝にたとえてイエス様の愛を教えてくださいます。イエス様の愛は無条件の愛です。永遠の愛です。完全な愛は恐れを締め出します。愛される価値がおそらくにもない私たちを、イエス様は選んで、愛して、実を結ぶように任命してくださいます。

イエス様のみ言葉です。わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。ヨハネ 15:12

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いを、キリスト・イエスにあってまもってくださいます アーメン

牧師：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

会衆：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

讚美歌 520 番 「しずけき河のきしべを」 1, 3, 4 節

1. しずけき河のきしべを すぎゆくときにも うきなやみの荒海を わたりゆくおりにも

※ **こころ安し 神によりて安し**

3. **うれしや十字架のうえに わが罪は死にき 救いの道 歩む身は ますらおのごとくに ※**

4. 大空は巻き去られて 地は崩るとき 罪の子らは騒ぐとも 神による御民は **※ アーメン**

主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。

みこころの天になるごとく地にもならせたまえ。われらの日用のかてを今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みに

あわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり

アーメン

頌栄の讚美歌 541 番

父、御子、御霊のおお御神(みかみ)に **ときわにたえせず み栄えあれ み栄えあれ アーメン**

祝福のことば

仰ぎ来い願わくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき御交

わりが、それぞれのところで共に礼拝にあずかっておられる一同とともに、今日も、この一週

間も、いく久しくとこしえまでも、ゆたかにありますように。 **アーメン**

アーメン三唱、後奏